

国際ロータリー第2580地区
東京東江戸川ロータリークラブ

WEEKLY REPORT VOL. 57
No.37 第2603回 2026.6.23

よいことのために手を取りあおう

RI会長
フランチェスコ・アレツォ

一味同心
Working together with one mind

クラブ会長
小内 賢一



川奈ホテルGC富士コースNo. 11

- ◆例会日◆ 火曜日 12:30~13:30
- ◆例会場◆ タワーホール船堀 〒134-0091 江戸川区船堀4-1-1 TEL 03 (5676) 5511
- ◆創立◆ 1969年9月18日 (日本で951番目)

本日の卓話

令和8年6月23日

次回の卓話

令和8年7月7日

最終例会

「三役退任挨拶」

初例会

「三役就任挨拶」

会長 副会長 幹事
小内 賢一 君 菅原 隆之 君 岩倉 孝雄 君

会長 副会長 幹事
菅原 隆之 君 瀬下 和洋 君 唐澤 正樹 君

《6月9日例会報告》

点鐘

ロータリーソング「我等の生業」「BIRTH DAY SONG」



会員誕生日祝 丹上君 寺田君 鹿倉君

来賓紹介

◎ゲスト 1名
築山 類氏 (ゲストスピーカー)

◎ビジター 0名 計1名

出席報告

会員数	出席	出席率
20名	17名	85%

会長報告

○6月4日(木) 損保会館大会議室にて、地区ミーティングおよびクラブ活性化ワークショップ出席報告。

幹事報告

○6月13日(土)~15日(月) 台湾にて、親睦旅行

会長 ◆ 小内 賢一 公共イメージ委員会 ◆ 鹿倉 勇・嶋村 文男・瀬下 和洋・丹上 靖雄
副会長 ◆ 菅原 隆之 事務局 ◆ 〒132-0035 江戸川区平井 6-13-21(株)スガワラ 4階
幹事 ◆ 岩倉 孝雄 TEL 03(5612)1767 FAX 03(5612)1774
e-mail: e-edogawa@msc.biglobe.ne.jp http://e-edogawa-rc.com

(国際大会)。

○次週 6月16日は休会となります。次回例会は6月23日の最終例会です。お間違えの無いようお気をつけ下さい。

○ジェニファー・ジョーンズ 2026-27年度TRF管理委員長ご来日「ロータリー財団フォーラム」と「管理委員長ご夫妻歓迎会」の正式なご案内がまいました。

東京開催：2026年8月21日（金）

「ロータリー財団フォーラム」

“ジェニファーさんと大いに語ろう”

時間 14：00～17：30（開場13：30）

会場：ニッショーホール

登録料：ロータリー会員・パートナー 6,000円

「管理委員長ご夫妻歓迎会」

時間 18：00～20：45（開場18：00）

会場：ホテルオークラ東京

プレステータタワー1階「平安」

登録料：28,000円

ドレスコード：スマートカジュアル

神戸開催(2026年8月23日(日))もごございます。

詳細及びお申し込みは、7月7日（火）までに事務局へお申し出下さい。

例会臨時変更のお知らせ

6月23日（火）

・東京足立RC → 移動夜間例会（慰労懇親会）

6月24日（水）

・東京本郷RC → 夜間例会

・東京目白RC → 休会

6月25日（木）

・東京向島RC、東京ベイRC、東京江戸川中央RC → 夜間例会

6月26日（金）

・東京リバーサイドRC、東京小平RC → 夜間例会

6月30日（火）

・東京江東RC → 休会

・東京葛飾中央RC → 夜間例会（慰労懇親会）

委員会報告

<パストガバナー 嶋村君>

・地区クラブ活性化セミナー報告

<旧東分区懇親ゴルフ大会実行委員会>

・10/9開催：旧東分区懇親ゴルフ大会について

《卓話》

6月9日例会の卓話は、江戸川区SDGS推進部広報課長 築山 類氏の「江戸川区の新たな魅力発信事業」でした。



卓話謝礼をニコニコに頂戴いたしました。



ニコニコBOX

本日入金…¥ 42,000

今期累計…¥ 1,165,000

基金合計…¥ 987,761

ニコニコ情報

①本日の卓話「江戸川区の新たな魅力発信事業」

江戸川区SDGS推進部 広報課長 築山 類様

江戸川区の新たな魅力を勉強します。

よろしくお祈いします。

②6月12日から8名で、国際大会に行ってきます。

鹿野君、茂手木君、鈴木君、猪野君、平田君、岡村君、田中君、鹿倉君、唐澤君、岩倉君、橋本君、菅原君、丹上君…①②

嶋村君…今朝、小松から戻ってきました。台湾では多くの出会いがありそうです。楽しみです。同行されるメンバーの皆さん、宜しくお願いします。

小内君…12日から8名で、世界大会に台北へ行ってきます。今回は台湾ということもあり、5000人近くの日本人が登録しております。築山さん、卓話楽しみにしております。宜しくお願いします。

寺田君…誕生日を迎えました。健康維持しながら、頑張っていきたいと思ひます。計16名

新緑を愛でる会報告

日時：令和8年5月20日（土）PM5：00～

場所：市川「栃木家」

出席者：猪野、岩倉、岡村、小内、鹿野、菅原、鈴木、瀬下、橋本、茂手木、唐澤、

(50音順・敬称略) 計11名

鶴岡RC 3名(富樫会長、佐藤様、高橋様)

今般、鶴岡RCメンバーと親睦を図る機会として

観桜会を企画しておりましたが、ホテルの予約が取れないため日程を延期し、「新緑を愛でる会」として開催されました。当日は、午後5時からの開催予定でしたが、諸事情により30分遅れての開催となりました。

我がクラブ小内会長の挨拶、鶴岡RCの富樫会長の挨拶をいただいた後、鹿野パスト会長から乾杯の発声をいただき、宴席が始まりました。

テーブルにはお刺身や天ぷらなどたくさん料理が運ばれ、どの料理もとてもおいしくいただきました。特に私は茶そばが美味しかったです。

料理とともに、地元千葉のお酒もすすみました。お腹も満たされました頃、皆様から自己紹介をしていただきました。我がクラブとの関わり、交流などを聞くことができ、懐かしく思い出ことができました。

高橋様から、ただ茶豆についてお話していただきました。8月にだだちゃ豆例会に参加してくださいとお誘いをいただき、参加しようと盛り上がりました。

また、鹿野パスト会長が翌日に柴又帝釈天にご案内して、お昼に鰻を食べる計画をしていただき、鶴岡RCの方々は、喜んでいました。鹿野パスト会長、ありがとうございました。

楽しい時間が過ぎるのはあっという間で、19時30分を回ったところで、菅原副会長による皆様へのお礼と共に中締めとなりました。

ご参加の皆様、楽しい時間をありがとうございました。来年も楽しみにしています。



(記：唐澤正樹)

【講演者がもたらすインスピレーション】

本大会では、史上最年少のノーベル平和賞受賞者であり、女子教育の力強い提唱者であるマララ・ユスフザイさんを筆頭に、素晴らしい講演者たちが登壇しました。

父親がロータリー会員だったユスフザイさんは、10代になる前からパキスタンで教育支援活動を始

めていました。15歳のとき、彼女の活動を封じようとするタリバンの襲撃に遭いましたが、一命を取り留めました。英国での数カ月にわたる手術とリハビリを経て、世界中の女子教育のための活動を継続するためマララ基金を共同設立し、2014年、17歳のときに、教育と平等の推進に向けた取り組みが評価され、ノーベル平和賞を受賞しました。2020年にはオックスフォード大学を卒業し、哲学・政治学・経済学の学位を取得しました。

「私は11歳のときに教育キャンペーンを始めました」と、ユスフザイさんは6月16日の第2回本会議で述べました。「当初、女子の教育の権利を求めて声を上げていたのは私と父だけでした。しかし、私たちに寄り添ってくれた人びとや、私たちの共同の取り組みが希望を与えてくれました」

進展を認めつつ、世界では依然として約1億2,000万人の女兒が学校に通えていない現状を指摘し、彼女たちがリーダーシップを発揮できるよう支援しようと会場の出席者に呼びかけました。「少女たちは問題を最もよく理解しており、解決策もよく理解しているのです」とユスフザイさんは述べました。

また、ユスフザイさんは、すべての女兒が質の高い教育を受けられるよう支援することの重要性を呼びかけました。「長年の経験を通じて、一人の力だけでは世界を変えることはできず、歴史上のあらゆる運動は多くの人びとの手によって築かれてきたということを学びました」とユスフザイさん。「地元で中退する恐れのある少女たちがいるかどうかを確認してみてください。自分に何かできることがあるか、教師たちに尋ねてみてください。少女たちのためにより良い未来を築くには、皆さまの大胆で野心的なビジョンが必要です」

また、メンタルヘルスや襲撃からの回復について語った際もユスフザイさんは温かい反響を得ました。

「当初は身体的な回復にのみ注力していましたが、後にメンタルヘルスの重要性に気づきました。セラピーを通じて助けを求めることは弱さではなく強さだと理解できました。世界中の若者達に『自分たちは一人ではない』と知ってもらいたいからこそ私は自分の苦闘について率直に話すことを選びました」

閉会セッションでは、2023-24年度全米青少年詩人代表のサロメ・アグバロジさんが、自身の詩「HOPE」を朗読し、将来に向けた新たな課題を提示しました。

「希望を単なる心構えから行動へと変えるとき、私たちは理想とする世界の実現に大きく近づきます」と、彼女は詩の朗読後に語りました。「ロータリー会員は、

計り知れないほど大きな善を実現する、社会革命のサイエンティストであり、エンジニアなのです」

(RI ホームページ国際大会特集より抜粋)



退任のご挨拶

会 長 小内 賢一

本年度、第五十七代会長を務めさせて頂きました、小内賢一です。一回目の会長職は、第五十三代として会長を拝命させて頂きましたが、新型コロナウイルスの蔓延により、例会は初例会のみ、緊急事態宣言の発出もあり、開催できない週や開催しても、円卓での例会は行えず、親睦旅行・忘年家族会・家庭集会等の親睦活動は全く行うことが出来ませんでした。その中でも橋本幹事と2名で、サンタとトナカイのコスプレをして、地区補助金を使ったコミュニケーションツール「ポケットーク」と絵本の寄贈が出来たことは、良き思い出です。

今年度は、奉仕活動・親睦活動ともにたくさんの活動を行うことが出来ました。

奉仕活動としては、地区補助金やグローバル補助金を活用したプロジェクトやポリオ根絶に向けた講演会・募金活動等行い、インターアクターの米山梅吉記念館の訪問と静岡県のインターアクタクラブとのディスカッションを行いました。

親睦活動としては、3回のゴルフ会長杯、親睦バス旅行、ワカサギ釣り、望年家族会、5回の家庭集会を実施し、たくさんの親睦活動を行うことが出来ました。ただ、2回目の親睦旅行として計画していた、台湾の世界大会訪問に体調不良で参加できなかったのは大変残念です。また、創立57周年記念例会では、スペシャルオリンピックス東京の佐藤様と参加アスリートに卓話をして頂き、より障がい者スポーツの理解が深まったことと思います。

前回、会長職の後、55周年岩倉会長年度での幹事、第57代として2回目の会長と経験させて頂いたことによって、ある程度計画的に活動を策定することが出来て、掛け替えのない経験をさせて頂きました。そして、3年に1回発行される国際ロータリーの手続き要覧を受けて、当クラブのクラブ定款・細則の見直しを行い、より現状に即した内容に変更することが出来たことは、2回目の会長であったからこそ出来たことと思っています。

また、1回目の会長時には、ほとんど出来なかった他クラブの会長幹事との交流についても、会長ならではの経験をすることが出来たと思っております。

メンバーの皆様におかれましては、まだまだ経験の少ない会長を大変盛り上げて頂き、お世話になりました。私自身にとっても、ロータリークラブの会長という重責を担った一年間は、至らない点多々あったと存じますが、皆様からの温かいご支援のおかげで、貴重な経験となりました。本当にありがとうございました。

様々なアドバイスやご協力を、皆様から頂戴出来ましたこと、心から感謝申し上げます。退任のご挨拶とさせていただきます。



退任のご挨拶

幹 事 岩倉 孝雄

1年間お世話になりました。1年前、小内さんから来年の幹事やってもらえないかとオファーをいただきました。「えっ、無理」と思いました。会長が終わってまだ1年しかたっていないのに。しかし小内さんから「1年前と一緒にやったからやりやすいと思うよ。早くやった方がいいと思うよ」と言われ、なるほど、それもそうだと思います。何より、ロータリーには「YESか はい、か 喜んで」しか答えはない、ということ思い出し、幹事を引き受けることにしました。

私にとって会長幹事職で一番大変だったのは、いろんな行事に参加することでした。会長のときは無理をして参加しましたが、参加すれば楽しいことがたくさんありました。しかし今回は少しサボりました。実際、モンゴル等海外にも行きたかったのですが、休み中もオンコールがあるのでいけませんでした。小内会長、そのほかの皆様にはご大変迷惑をおかけしたと思います。申し訳ありませんでした

皆様のご理解、ご協力を賜りながら、なんとか1年間幹事をする事ができました。本当にありがとうございました。

これからもよろしく願い致します。

次回例会は 7月7日 初例会です！
6月30日は休会です
お間違えのない様お気をつけください